

TOKYO福祉のお仕事アンバサダー 公式Twitter&HPをチェック！



Twitter公式アカウント

@fukushi_kitty



HP



東京都は、ハローキティを「TOKYO福祉のお仕事アンバサダー」に任命しました。このアカウント&サイトでは、その活動や、福祉のお仕事の魅力ややりがいについて情報発信していきます。

こちらもチェック！



東京都福祉人材情報バンクシステム「ふくむすび」

福祉の仕事や資格の種類についての解説のほか、福祉の仕事に関するイベントやボランティア情報など様々なコンテンツを発信しているサイトです。

<https://www.fukushijinzei.metro.tokyo.jp/>



東京都福祉人材センター

福祉に興味をもってもらうためのイベントやお仕事体験、福祉のお仕事紹介などを行っています。ホームページでは、様々な福祉の魅力も発信しています。

<https://www.tcs.w.tvac.or.jp/jinzai/>



TOKYO福祉のお仕事アンバサダー ハローキティ

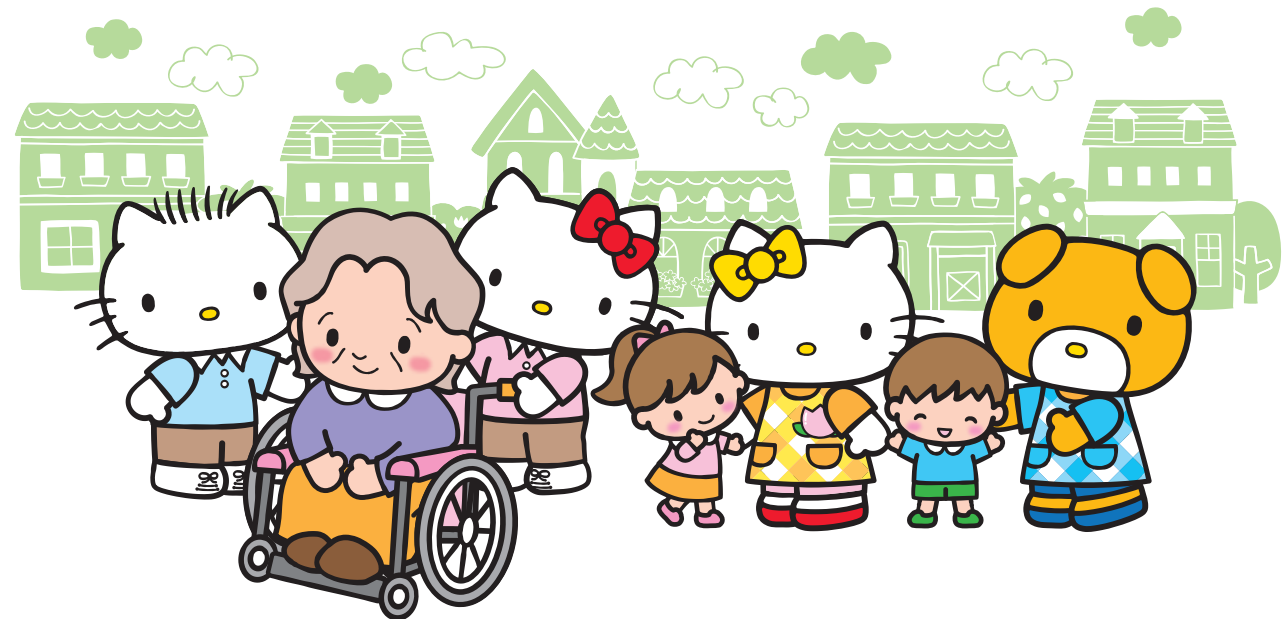
と学ぶ



— 福祉のお仕事 —



東京都 × Hello Kitty



“働く”ってどういうこと？

世の中には、さまざまな仕事があります。

みなさんがよく知っている仕事から、

あまり知られていない仕事、

まだ名前のついていない仕事もあるかもしれません。

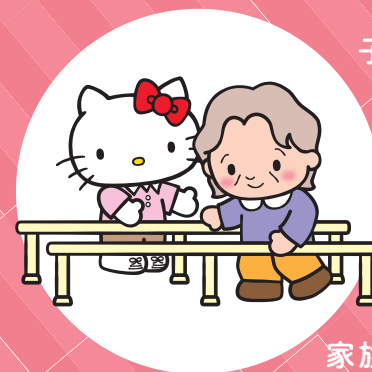
誰かに必要とされたり、

社会の役に立ったりすることで、

私たちは働くことの喜びを得ることができます。

働くことで得られる喜びややりがいを、

一緒に考えてみませんか？



福祉の仕事

福祉の仕事は、

子供や、高齢者、障害者などの日常に寄り添い

サポートすることで、

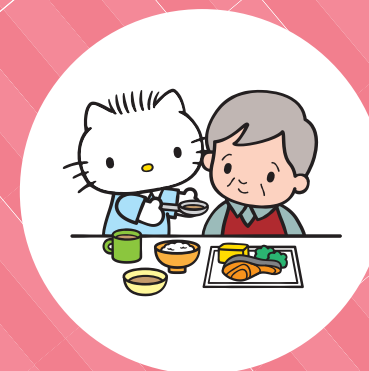
その人はもちろん、

家族や周囲の人々の幸せな暮らしを支えています。

暮らしを支え、社会を支える

「エッセンシャルワーク」

それが福祉の仕事です。



あなたがやりたい仕事や、家族や周囲の人の仕事を1つ思い浮かべて、
どのように人や社会の役に立っているのか考えてみましょう。
その仕事ならではの喜びややりがいは何だと思いますか？



あなたが今まで、困っている人や家族、友達を助けることで
喜びを感じたことを思い出してみましょう。
同じ喜びを得られる福祉の仕事があるかもしれません。



福祉に関わる人たち

様々な福祉のお仕事に携わる人たちの声を聞いてみましょう。

〔 介護福祉士 〕

特別養護老人ホーム 第三南陽園 勤務

佐藤 秀治さん

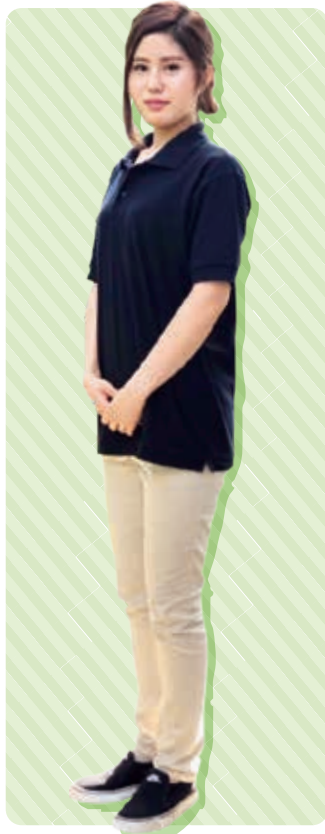


特別養護老人ホームで、食事、排せつ、入浴などの身体介護を行ったり、看護師や他の職員と連携し、利用者の方の健康管理や身体機能の維持・向上を目指して仕事をしています。一つの職種では難しいことも、同じ目標に向けてチームで連携することで、利用者の方が望む暮らしに近づけると 생각합니다。また、話しやすい雰囲気づくりや、相手の話し方の変化に対してさりげなくペースを合わせるなど、コミュニケーションの取り方も工夫しながら、信頼関係を深めることを大切にしています。

〔 介護福祉士 〕

デイ・ホーム モア世田谷瀬田 勤務

中川 真耶さん



日帰りが中心の通所介護施設で、季節行事の計画・実行、歩行や入浴、排せつのお手伝いなど様々な仕事に携わっています。施設では、1日の基本プログラムがありますが、それを強要するのではなく、できるだけご本人の希望に合わせてサポートをするように心がけています。仕事をする上では、誰が見ていても恥ずかしくない介護を提供することを意識し、自分や、自分の家族が受けたいと思えるようなサービスを提供できるように心がけています。

〔 児童指導員 〕

調布学園 勤務

向井 健太郎さん



2歳から高校生までの子供たちが暮らす児童養護施設で、生活のサポートなどを行っています。施設には、複雑な環境で育ったため、人を信頼することが難しくなっている子供たちもいます。大切なのは、信頼関係を築いていくこと。宿泊を伴った勤務の際は子供たちと過ごす時間も長く、接する中で子供たちが自然に話してくれることに耳を傾けます。また、他の職員が担当した日の記録も見て情報を得るようにしています。ちょっとした言動から、心の成長や変化を感じられたときは、とてもやりがいを感じます。

〔 保育士 〕

ルーチェ保育園 西新宿 勤務

大林 杏さん



園での一日は、朝の会、散歩、昼食、お昼寝、午後の活動など、基本的な予定に沿って過ごします。子供たちの成長を間近で見られることが何よりのやりがい。例えば、おもちゃの取り合いになっても、「今は私が使っているんだよ」と穏やかな表現を使えるようになったときなど、成長を感じてうれしく思います。絵本の読み聞かせやクイズを出したときに、「楽しかった」「もっとやって」と言われると、楽しんでもらえたんだなと実感が湧き、こちらも楽しい気持ちになりますね。

〔 生活支援員 〕

福生第二学園 勤務

今泉 寛さん



私の勤める施設は、知的障害のある方への生活のお手伝いを行っています。早番、夜勤等の出勤区分があり、職員が交代しながら支援を行います。特に音楽を活用した支援に力を入れていて、音楽に触れることで心身ともに健康に過ごせるよう、日々の活動に取り入れています。時には利用者の方との関係性を築くのに難しさを感じることもあります。乗り越えて良い関係を築け、笑顔を見ることができたときや、感謝の言葉をかけられたときには喜びややりがいを感じます。

〔 生活支援員 〕

やすらぎの杜 勤務

丸山 利江さん



私が働く施設では、障害のある利用者の方がパンの製造・販売や近隣福祉施設の掃除など様々な活動を通して、働くための訓練を行っています。その計画やお手伝いが私の仕事です。休日の活動など、様々な企画を考えますが、常に新しいことを企画して、利用者の方に喜んでもらいたいと思っているので、実際に楽しんでもらえたときには頑張ってよかったと感じます。どんなことでも、同じことの繰り返しにならないよう、「新しいことをやりたい」という意識を持って取り組んでいます。



福祉のお仕事をのぞいてみよう〔介護施設〕



〔介護職員〕
小佐井 麻衣さん
社会福祉法人フレスコ会
特別養護老人ホーム フレスコ浅草
福祉のお仕事：6年目

自分の笑顔で、みんなも笑顔になれる毎日を。

私の仕事は、利用者の方の食事やトイレ、着替えなど、生活の中で一人で行うのが難しくなってしまったことをお手伝いすることです。また、楽しみのある生活を送っていただけるよう、様々なイベントや近所への散歩などを通して、利用者の方と職員が一緒になって楽しい時間を過ごすことも、仕事の一つです。

正直、初めは気軽な気持ちで始めた仕事で、特に資格も持たずにスタートしました。最初の職場が明るい人達ばかりで、全

くの未経験だった私でも楽しく仕事を覚えることができました。そんな中で、「笑顔」の大切さに気がきました。笑っている人を見ると、人は自然に笑顔になります。それは、お互いにとってプラスになると思っています。あまり構え過ぎずに、笑顔で、自然体で接する中で、利用者の方も心を開いてくれる。それが、利用者の方にとっても自分にとってもいいことだと思います。あるときは、あまり積極的ではない利用者の方をレクリエーションにお誘いしたら、

「あなたが一緒なら」と言って参加してくれました。そういう風に心を開いてくれたときは、「認められたんだな」と、とてもうれしく、やりがいも感じます。

今は、利用者の方にも、一緒に働く人にも、「あの人がいるから頑張れる」と言われるような存在になりたいと思っています。少しずつ自信もついて、より仕事も楽しくなり、介護福祉士の資格を取りたいという新しい目標もできました。その目標に向けて、もっと頑張りたいと思っています。



▲屋上の菜園を見ながら、利用者の方とお散歩



まとめ

自分も、利用者の方も、一緒に働く人達も、みんな明るくて笑顔がいっぱいのお仕事なのね。楽しくお仕事をすることで自分を認めてもらえて、次に目指したい自分も見つかるって、とっても素敵ですね！



〔介護福祉士〕
金子 光太郎さん
社会福祉法人浴光会
特別養護老人ホーム かがやき
福祉のお仕事：6年目

頼りにしてくれる人たちに、丁寧な支援で応えたい。

現在の仕事に就く前は、リフォーム業の職人として働いていました。その前から福祉の仕事に対しては、「どんなものかな」という漠然とした興味はありましたが、専門的な知識はない状態から働き始めました。この仕事を始めて利用者の方と接するうちに、「自分はこんなに人と接することが好きだったんだな」ということに改めて気がきました。利用者の方が、世間話の中で見せてくれる何気ない笑顔も、とてもうれしく感じます。

利用者の方に対しては、当たり前のことですが「丁寧に、優しく接すること」を大切にしています。中には、職員の感情の変化や、対応の微妙な違いに敏感に反応される方もいます。こちらの対応次第で、利用者の方の感情や行動にも影響が出てしまうこともあるのです。自分も経験を積んで、利用者一人ひとりのことがわかってくると、利用者の方の行動や生活リズムなどから、望んでいることや感情の変化もわかるようになってきました。あるときは、あま

り食事が進まない方に、「あれはどうか、これはどうか」といろいろ考えて提案し、食事を取ってもらえたことがありました。自分の支援によって利用者の方のことができることが増えたときには、とてもやりがいを感じます。今、新たに資格の取得を目指していて、これでまた一つ、利用者の方へのサポートにつながるのかな、と思っています。利用者の方が笑顔になってくれたり、「あなたでよかったわ」と言ってくれることが、自分のやる気にもつながっています。



▲夕食の配膳をしながら利用者の方と談笑

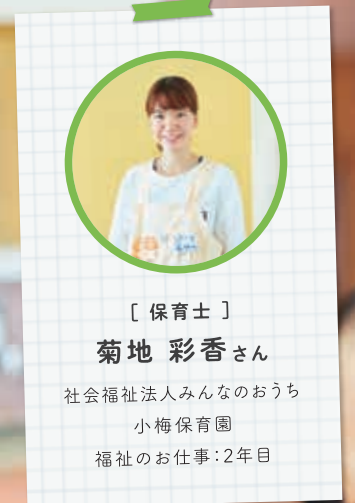


まとめ

「丁寧に、優しく接すること」。確かに当たり前かもしれないけど、大事なことなんだね。自分の接し方一つで、相手の表情が明るくなったり、喜んでもらえたりすると、もっと頑張ろうって思えるよね！



福祉のお仕事をのぞいてみよう「保育所」



子供たちの成長を感じられるのが、一番の喜び。

子供の頃から小さな子が好きで、当時から今のような仕事に就きたいな、とぼんやり考えていました。中学校の職場体験では保育園でのボランティアを経験しました。保育・教育専門の大学で学び、卒業後の進路を考えていたときに、新しくできるこの園の存在を知って、入職を希望しました。

仕事の中でやりがいを感じるのは、子供たちの成長が日々目に見えること。現在1歳児クラスを担当していますが、最初はお話が上手にできなかった子供たちが、少し

ずつ単語がでてくるようになり、徐々にやりとりもできるようになっていきます。子供たち自身の言葉で一生懸命話してくれる姿を見ると、かわいいな、うれしいな、と思います。初めてこの園に勤めた年に担任した子供たちは当時2歳。今は5歳の年長さんになって、発表会で劇をしている姿を見たり、来年の卒園を思うと、とても感慨深い気持ちになります。

また子供たちには、「自分が大切にされている」ということを感じてほしいと思って

います。そのため、話すときには否定語はあまり使わず、誰が聞いても心地良い言葉やうれしくなる言葉、褒める言葉を使うようにしています。子供たちは、今いろいろなことを身に付けている時期ですが、中には「失敗するからやりたくない」と感じてしまう子もいます。でも、そもそも“失敗”という考え方を取り払って、いまできることの過程を進んでいるんだ、という考え方で接しています。伝え方と笑顔を大切に、成長をそばで手助けしていきたいと思っています。

「遊び」も「学び」。あらゆる経験から、成長へ。

中学生の頃、幼稚園での職場体験で子供たちと関わる楽しさを知りました。私は人見知りでしたが、子供たちの方から寄ってきてくれて一緒に遊び、とても楽しい経験になりました。そこから、保育者を目指し始めました。

この仕事は、子供たちの日々の小さな変化や成長を近くで感じられます。例えば、保育士が手伝っていた着替えを自分でできるようになったり、遊具を怖がっていたのが、遊べるようになり楽しさを覚え

ていったり、本当に様々な成長を見せてくれます。また、子供たちが遊びの中で出会った“小さな大発見”を共有することも楽しみの一つです。公園に行ってダンゴムシを見つけることも、子供たちにとっては大発見。観察して気付いたことを興奮しながら私たち保育士に教えてくれるのは、とても楽しい瞬間です。

また私自身、礼儀やマナーを守ることを大切にしています。例えば、地域の方が来られた際には率先して挨拶をするなど、

基本的なことです。子供たちは、日々保育士の姿を見えています。まず私自身ができていないと、子供たちにも伝わらないと思います。そういう姿を見せることも、子供たちとの信頼関係を築くことにつながっていると思っています。あらゆることが、子供たちにとっては「学び」。遊び一つとっても、どういう力を育てていきたいのか、ねらいを持って設定します。より楽しく、より子供たちの成長を伸ばせる保育を、日々考えるようにしています。



▲子供たちとテーブルを囲んで、お昼ごはん



まとめ

言葉を通したコミュニケーションの、最初の一步を、そばで見守っているんだね。どんどんたくさんのことを吸収していく子供たちにとって、保育士さんたちが話す言葉の一つひとつが大切なんだ。



▲子供たちに、絵本の読み聞かせ中



まとめ

遊びの中で見つけた“小さな大発見”が、子供たちを成長させるのね。保育士さんは、一番身近な大人の一人だよ。言葉で説明するよりもお手本を見せてあげることが、小さい子供たちには大切なかもしれないね！



福祉のお仕事をのぞいてみよう〔障害者施設〕



チームで考え、利用者が持つ可能性をサポート。

私の仕事は、障害があって生活や働くことが困難な方を支援することです。

学生の頃、「障害のある方は、可能性がたくさんある方」という話を聞き、興味を持ったことがきっかけで今の仕事に就きました。実際に仕事の中でも、その言葉の意味を実感しています。利用者の方の絵が、ある企業の商品の柄として採用されたり、障害者スポーツで1位になった方がいたり、様々な分野で活躍している人がいます。また、例えば洋服をたたむといった日常的なことでも、一

人でできなかったことができるようになり、一つずつできることが増えていく、そんな可能性をサポートすることに、仕事のやりがいを感じています。

私たちの仕事は、利用者の方の日常生活や簡単な作業の訓練ですが、これは一人ではできない、チームで行う仕事です。24時間体制の中では、様々なことが起こります。チームで情報を共有しながら、どういう支援をすればいいのかをみんなで考えます。チームには様々な経歴を持った職員がいて、それぞれ

の視点があり、時には意見が食い違うこともあります。そういったときは、今週1週間はこの方法で、次の1週間は別の方法でやってみる、その上で、何がよかったのかということ話し合います。その結果、利用者の方やご家族から「ありがとう」と言われたときには、この仕事をして良かった、この支援をして良かったと思ひ、自信にもつながります。みんなで協力し合いながら、利用者も職員も「ここにいたい!楽しみたい!」と思える施設作りやサービスを目指していきたいと思います。



▲体を動かす訓練中にハイタッチ



まとめ

可能性がたくさんあるって、とってもすごいことだね!一人ひとりが違う可能性を持っていて、それをそばでサポートしているんだね。チームの仲間と一緒になら、一人では思いつかないアイデアも生まれそう!



生活に繋がる、“心の支援”。

実家の近くに障害者施設があり、子供の頃から、施設に通う利用者の方を見て身近に感じていました。中学生の頃、先生との進路相談で「人と関わる仕事がしたい」ということを伝え、福祉の仕事を勧められ、障害者のための施設で働くという選択肢があることに気付きました。大学では福祉について学び、また障害者施設でのアルバイトも経験しました。その頃、今の職場を紹介されて就職を決めました。ずっと興味はあったものの、働く前は、

暗くて閉鎖的なイメージを抱いていました。しかし実際は、開放的な施設で、利用者の方も明るい方が多く、歓迎ムードで受け入れてくれました。また地域住民が参加されるお祭りなどもあり、イメージは働く前から大きく変わりました。

現在の仕事は、働くための訓練のサポートなどを行っています。利用者の方の中には、自分の気持ちを言葉でうまく伝えられない方もいます。日々の関わりだけでなく、連絡帳を通してご自宅での様子を伺ったり、

過去の資料からヒントを得たり、様々な情報から気持ちを理解するように努めています。良い関係性が築けてくると、利用者の方が私に相談や悩みを話してくれるようになります。そうなることで、ご自宅でお母さんとも話せるようになるなど、施設の外でも良い変化が見られるようになりました。ここへ通ってくる方の生活の大半は、施設外で過ごす時間。ここで悩みや課題と一緒に乗り越えることが、施設の外での生活にもつながっていると感じると、うれしく思います。



▲利用者の方々と、袋詰めなどの作業



まとめ

利用者の方に寄り添って、気持ちを理解することが大切なんだね。施設の中だけでなく、外での生活で自分の気持ちや考えをうまく伝えられるようになると、その人の生活も充実しうさうだね。



福祉のお仕事紹介

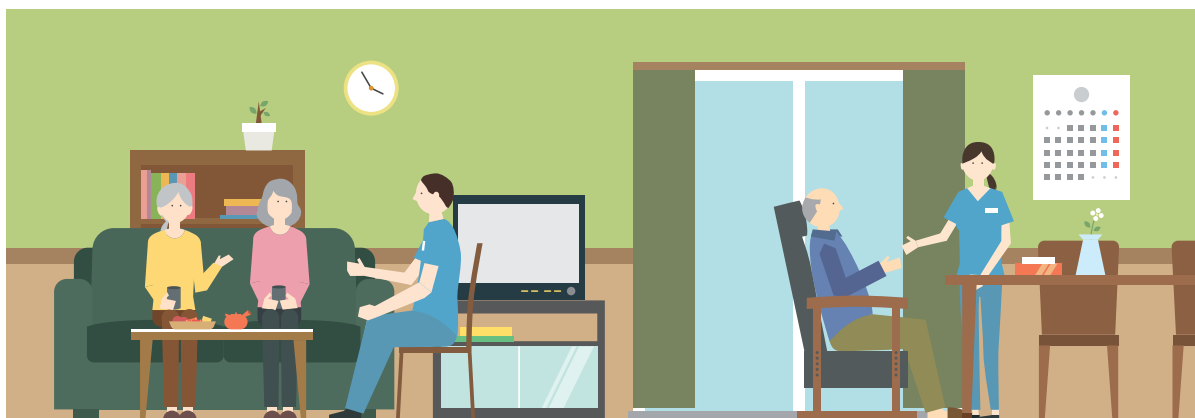
利用者のニーズに合わせて、様々な施設やサービスがある福祉のお仕事。
その仕事の一部をご紹介します。

高齢者福祉のお仕事



特別養護老人ホーム

日常生活で介護が必要な高齢者が暮らす施設で、主な職種に**介護士**があります。食事、入浴、排せつの介護を行ったり、日々のレクリエーションや季節の行事活動等を行います。ほかには、利用者や家族の方の相談にのったり、様々な手続きを行う**生活相談員**もいます。特別養護老人ホームでは、地域や病院との連絡、リハビリなどの支援内容の計画も行います。



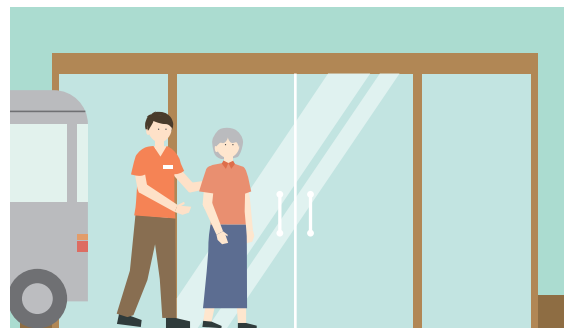
訪問介護

高齢者が暮らしている自宅を訪問し、家事などの身の回りのお世話や介護を行うサービスで、主な職種に**ホームヘルパー**があります。



通所介護

介護を必要とする高齢者が施設に通い、入浴・食事の支援、歩行などの訓練を受けるサービスで、「デイサービス」とも言われています。



このほかにも、一人ひとりに合った介護の計画を考える「ケアマネジャー」や、
リハビリ施設で働く医療関係の職種等、様々なお仕事があります。

障害者福祉のお仕事



入所施設

生活のサポートを必要とする障害者が暮らす施設で、食事や入浴等の身の回りのお手伝いを行う**生活支援員**などが働いています。



居宅介護

自宅で生活する障害者を支援するサービスで、食事・入浴等の介護を行う**ヘルパー**などが働いています。



就労移行支援 就労継続支援

障害者が働くために必要な技術を身に付ける訓練を行ったり、一般企業で働くことが困難な障害者に対して働く場を提供するサービスです。就労移行支援では、就職先の紹介等を行う**就労支援員**などが働いています。



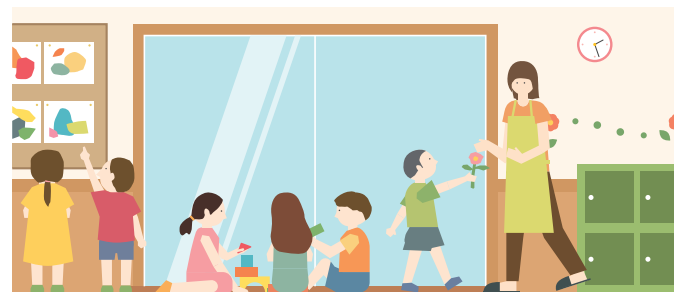
このほか、外出時の支援を行う仕事や、様々な相談を受ける相談支援専門員等、様々なお仕事があります。

児童福祉のお仕事



保育所

働いている保護者にかわって子供の育ちを支える施設で、ここで働く人の主な職種に**保育士**があります。子供たちが安全で快適な環境の中で過ごし、成長できるように保育を行います。**看護師**、**栄養士**等も働いています。



このほか、障害がある子供のための施設や、
生活に困難を抱える母子をサポートする母子支援員が働く施設等もあります。



児童養護施設

様々な事情で家庭での生活が難しい子供が暮らす施設で、子供の成長を助け、生活に必要な能力を身に付けられるように食事や通学などをサポートします。ここでは**児童指導員**等が働いています。





様々な福祉の資格

福祉の仕事には、スペシャリストとして活躍できる様々な資格があります。
代表的な資格と、取得の流れを紹介します。

介護福祉士

高齢や障害のため、日常生活で支援が必要な人に対して、
食事、入浴、排せつなどの支援をしたり、家族などに自宅で
の生活を送るのに必要な介護方法のアドバイスをします。

中学校

高等学校等

福祉系高等学校等

福祉系大学・
社会福祉士養成施設等

介護福祉士養成施設
(2年以上)

介護福祉士養成施設
(1年以上)

介護福祉士国家試験

介護福祉士

保育士

保育所や児童養護施設などで、子供たちの成長
を助けたり、保護者へのアドバイスをします。

中学校

高等学校等

実務5年以上

実務2年以上

短期大学卒業
または同等以上

専門学校・短期大学の保育士養成課程・
4年制大学の保育士養成課程

保育士国家試験

保育士

社会福祉士

身体上・精神上的の障害などにより、日常生活で支
援が必要な人に対して、福祉に関する相談にの
り、サポートします。

中学校

高等学校等

福祉系短期大学
(基礎科目履修)・
一般短期大学

実務
1～2年

養成施設
(6カ月または
1年以上)

福祉系大学(基礎科目履修)・
一般大学

福祉系短期大学(指定科目履修)

実務1～2年

福祉系大学(指定科目履修)

社会福祉士国家試験

社会福祉士

介護支援専門員

自宅で生活する人、施設を利用する人など、介護を必
要とする一人ひとりに合わせた支援の計画を考えま
す。また、本人や家族からの相談にのったり、老人ホー
ムや病院等との連絡も行います。介護施設などで5
年以上働き、試験に合格する必要があります。

精神保健福祉士

精神障害者の方やその家族からの相談にのったり、
就職についてのアドバイスや毎日の生活に必要な訓
練を行い、社会への復帰をサポートします。大学で
専門的な勉強をしたり、実際に働いたあと、試験に
合格する必要があります。

理学療法士・作業療法士

理学療法士は「起き上がる」「歩く」といった、基本となる
動作のリハビリテーションを行います。作業療法士は、「食
事をする」「字を書く」といった生活をスムーズに送るため
の動作のリハビリテーションを行います。どちらの資格も
大学などで勉強したあと、試験に合格する必要があります。



資格があると、できるこ
とが増えそうだね。
資格がなくても活躍で
きるお仕事たくさん！
働きながら資格を取る
こともできるみたい！